

シンポジウム 5

「消化管狭窄に対する内視鏡治療」

司会 入澤 篤志（獨協医科大学医学部内科学（消化器）講座）
海老 正秀（愛知医科大学消化管内科）

消化管狭窄に対する内視鏡の役割は重要であり、悪性狭窄に対するステント留置や、広範囲にわたる ESD 後の狭窄、術後吻合部狭窄ならびに炎症性腸疾患に伴う良性狭窄に対するバルーン拡張など様々である。各施設が取り組んでいる手技や工夫、新たな試み等を発表いただき、消化管狭窄に対する最適な対処法について討論していただきたい。